NPO Honokuni Forestry Association
Forest

フォレスト Vol.114
NPO（特定非営利活動法人）穂の国森づくりの会

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272　Fax. 0532-55-5276
E-mail／honokuni@honokuni.org
https://www.honokuni.org/

本会が設立した1997年頃は、森林ボランティアといえば素人でもできる除間伐や下刈りが中心でした。それから四半世紀が経過し、森林の樹々は大きくなり、もはや初心者の森林ボランティアでは手に負えないほどに成長してしまいました。

この25年間で森林ボランティアの果たす役割は、時代のニーズに合わせて変化してきたように感じます。子どもたちへの森林環境教育活動や生涯学習、最近では森林サービス産業や木育活動でしょうか。

しかし、普遍的なことがあります。それは、上下流の市民・企業や団体・行政のパートナーシップによって森林問題について取り組むことです。これからも皆様の変わらぬご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

（もりみの）

令和４年度の事業概要を紹介します！

令和4年6月2日（木）、アイプラザ豊橋「小ホール」で第22回定時総会が開催され、すべての議案が承認されました。

そこで、令和4年度の事業の概要とポイントついて紹介します。

森林整備活動

①はじめての森づくり体験講座

初心者や親子でも気軽に楽しく森づくり体験ができるようなイベントを、穂の国みんなの森や愛知県民の森で開催します。

②プリティフォレストクラブ活動

本年度も新城市出沢（すざわ）地区で除間伐を、11月から3月の週2回ペースで開催する予定です（水曜と土、日曜のいずれか）。

メンバー大募集中!

③穂の国みんなの森活動

（自然林再生プロジェクト事業①）

設楽町西部の段戸国有林にある原生林「きららの森」に接する人工林伐採跡地（約2.4ha）で、自然林（落葉広葉樹林）の再生に取り組んでいます。本年度は、樹木の成長調査を中心に作業を行う予定です。

なお、本年度の活動は令和4年4月～11月の週2回開催します（水曜と土、日曜のいずれか）。

④穂の国石巻の森活動

（自然林再生活動プロジェクト事業②）

豊橋市東部の豊橋国有林内にある風倒木災害跡地（0.6ha）で、自然林（常緑広葉樹林）の再生に取り組みます。本年度もSDGsに関心のある企業や団体を対象とした森づくり活動を秋に行う予定です。

本誌4ページをご参照ください。

⑤ウッドパーク平尾活動

昨年度で整備が整ったフィールドの維持管理を行うための定期活動（原則毎月第3土曜日）を実施しています。

また、一日森のようちえんや初心者アウトドア講座、個人・小団体向けのマインドフルネス講座なども開催予定です。

環境教育活動

①森林環境教育支援事業

豊川市内の小学校の野外教育活動（段戸裏谷原生林のガイド）を関係団体と共に支援します。

また、小学5年生を対象に、森林の多面的機能や林業、木材の話などを小学校に出向いて説明する「訪問授業」も依頼があれば関係機関と連携して積極的に実施します。

②森に親しむ事業

多くの市民に奥三河地域の自然の良さ、水源林の保全の大切さを実感してもらうため、自然観察会を開催します。

③木育推進事業

森づくりベンダー設置に協力を頂いている㈱クライム（オートバックス）と共同で、親子木工教室を毎月1回ペースで開催し、東三河産の木材を使う大切さを伝えていきます。実施場所は、オートバックスとよはし店や東三河ふるさと公園を予定しています。

また、豊橋木材商工協同組合などと共同で、木工イベントを11月に開催を予定しています。

森づくりサポート事業

①寄付型自動販売機啓発活動

㈱サン・カンパニーの全面的な協力のもと、東三河地域の各所に会の活動がラッピングされた自動販売機を設置し、会の活動の啓発活動を行います。なお、この自動販売機の売り上げの一部は会に寄付されます。上記の環境教育事業などの大変貴重な活動資金になりますので、新規設置のご協力をよろしくお願い致します。

詳しくは、当会ウェブサイトをご覧ください。

ウェブサイト

► https://www.honokuni.org/wp-content/uploads/2019/06/benda.pdf

②企業・団体の森づくりサポート

社会貢献活動やSDGsの取り組みとして企業・団体などが行う森づくり活動や森林活用に対し、作業指導やイベント企画、講演会や研修など幅広くサポートします。

また、中小の企業・団体向けの少人数でも参加できる森づくり活動も秋以降に開始予定です。

森林情報センター構想PT活動

奥三河地域の自然の魅力を活かした地域活性化事業に対し、東三河市民にとって最大限有益なものになるよう我々としても積極的に協力していきます。

また、令和4年度から発足する「山村都市交流拠点施設検討ワーキンググループ」に参画し、積極的に提言を行います。

フォレスト編集局

①機関紙「フォレスト」の発行

会の活動の情報発信を行う機関誌「フォレスト」vol.113～vol.115の編集と発行を行います。森林に関する世界的な情報から奥三河地域の最新情報まで幅広くをお届けします。

また、多くの方々にフォレストを読んでいただくために、常設できる場所を探しています。皆様のご協力をお願い致します。

②ウェブサイト・SNSによる情報発信

穂の国森づくりの会公式ウェブサイト

► https://www.honokuni.org/

ブログ

► https://honokuni97.exblog.jp/

フェイスブックページ

► https://www.facebook.com/honokuni.morizukuri/

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その23
「伊良湖岬」
中西　正

秋の伊良湖岬自然観察会　2012.10.7

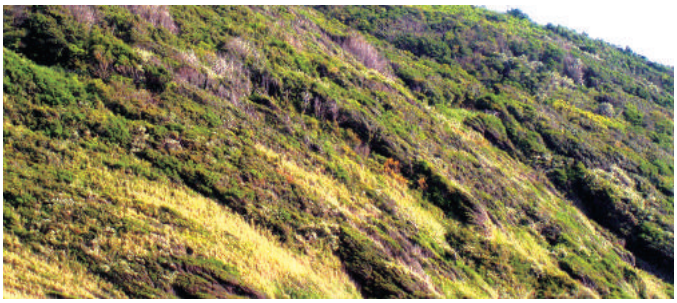
渥美半島はかつては3町あり、それぞれに道の駅があった。今回はその3つとも利用した。行きは「田原めっくんはうす」で、これは旧田原町の赤石にあり食物関係の業者が広い部分を占めている。ここでよく利用するのは、奥の一角にある地元農業者の持ち寄りコーナーだ。百円均一でお値打ち感がある。帰りのバスに乗ったのは旧渥美町の「伊良湖クリスタルポルト」の駐車場だった。ここは昔からあるターミナルビルが道の駅の名を与えられた感じで、お土産が主体で地元感に乏しい商品が多い。帰りの途中では旧赤羽根町の「あかばねロコステーション」に寄った。農作物の量は多いが特徴ある感じはしない。港の近くだからもっと海のものを出せばいいのにと思ってしまう。渥美半島は農業地帯だから、どこでも新鮮でお値打ち価格のものを期待してしまう。今回の講師は瀧崎先生であった。

▲ 恋路ヶ浜

観察は「恋路ヶ浜」からだった。太平洋に面した砂浜海岸で、波打ち際から植物が生える場所までは幅広い砂浜になっている。その植生帯には、初夏の頃ならハマヒルガオやハマニガナ、アレチマツヨイグサが花を咲かせている。今はコウボウムギやコウボウシバが枯れかけの葉を伸ばしている。木本であるハマゴウは葉を落として枯れ木のようになっている。今ここではハマユウが見られる。かつて、ここにはハマユウが自生していたが、絶滅してしまった。それを復元しようと植えたものである。ハマユウは暖地の砂浜のシンボルになる植物なのだろう。これも花期は夏だ。残念ながら砂浜で植物が生き生きするのは初夏の頃だ。

▲ ハマヒルガオ

岬の真ん中に「古山」があり、ここは照葉樹林に被われている。風のために樹形は低くなり、樹冠はそろっている。山の北側にある森は波打つように枝が伸びている。谷間のように風当たりが少なく、環境の安定したところにはヒメユズリハ、モチノキ、シロダモなどが生えている。



▲ 風を強く受ける「古山」北側の樹木

それらの森の下にはカクレミノが多い。吹きさらしのところではハマヒサカキ、ウバメガシ、マサキなどが見られる。日当たりがいい場所では木に絡みつくエビズルが目立つ。ヤマブドウの葉を小型にした形で、裏面は細毛で白く見える。ぶどうの房は小さいがぶどうらしい形である。種は大きく味は大変酸っぱい。風を強く受けるところでは木は枯れて縞模様になっている。八ヶ岳には縞枯山（しまがれやま）と言って、この様な縞枯れで有名な所がある。

海岸沿いの遊歩道を歩くと藪状になった大型の草を見るが、これはハチジョウススキやワセオバナである。崖地の草地にはオニユリやハマカンゾウがあるが、花はもう少し早い時期である。山中の遊歩道沿いにはサケバヒヨドリが咲いており、渡りをする蝶であるアサギマダラが蜜を吸いに来ている。わたりといえば、この時期の伊良湖岬はサシバをはじめ多くのタカ類、またヒヨドリなどが観察される。これを見るために全国から人が集まって来ており、駐車場はいっぱいである。秋の伊良湖岬は、陸上の植物は葉が痛んだりして疲れた様相だが、空の方では活発な生命活動が観察される。

イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

「穂の国石巻の森」で一緒にSDGs、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組みませんか。

1社2人でも、10社そろえば20人。効率よく森林整備が可能です！！

環境保全活動に取り組みたい。一度に多くの職員を参加させることは難しい。
でも、1社1名からでも大丈夫です。同様の事情をお持ちの企業を取りまとめて日程を調整して、中小の企業・団体でも参加しやすい森づくり活動を12月から始めます。

- 平日、土日・祝日いつでも可能。
- 作業時間は1時間半～2時間程度
- 親子でも参加可能な軽作業
  （立ったまま手が届く高さまでの枝打ち）

詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

※「穂の国石巻の森」については、本誌1ページをご参照ください。

定期活動やってます！

「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日（変更の場合もあります）

令和4年：8月20日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日
令和5年：1月21日、2月18日、3月18日

集　合：午前10時にウッドパーク平尾
※初参加の方は、事務局へご連絡ください。詳しい場所などをお知らせ致します。
終　了：午前11時半頃（その後は自由解散です）
対　象：個人会員（家族でご参加歓迎）、団体企業会員
内　容：草刈り、ビオトープ整備、生物観察、健康づくり講座、ピザ焼き体験など
持ち物：長靴、軍手、飲料、タオルなど
※参加について
天候や他のイベントにより開催が中止、変更になる場合もあります。
事前に事務局へご連絡いただければ幸いです。

寄付型自動販売機「森づくりベンダー」の設置にご協力をお願い致します。

この自動販売機の料金の一部が穂の国森づくりの会に寄付され、この貴重な寄付金をもとに自然林再生事業や森林環境教育事業を行っています。
しかし、安定した資金が確保しきれず、教育機関からのニーズに十分応えられないのが現状です。社会貢献活動の一環にもなります。ぜひ、設置のご協力をお願い致します。

詳しくはウェブサイト、また事務局までお問い合わせください。

詳しくはこちら

会報誌フォレストの常設場所を探しています！

多くの方々にフォレストを読んでいただくために、常設できる場所を探しています。
ご協力いただける場所がありましたら事務局までご一報いただければ幸いです。

私たちと一緒に森へいきませんか？ 穂の国森づくりの会会員大募集!!

https://www.honokuni.org/

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも会員になることができます。
会費:個人会員1口・3,000 円／団体企業会員1口・12,000 円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272　E-mail／honokuni@honokuni.org

●再生紙を使用しています　PRINTED WITH SOYINK　この印刷物には、環境に配慮した植物性大豆インキを使用しております。